

2024年度4年生3学期特別授業（Zoom）シラバス

【ディレクター】

松田 晃（医学教育学）

【対象】

2024年度4年生臨床実習生（医学）非認定者

【一般的な目標】

各領域の基本的な事項を習得し、Student Doctor として相応しい医学知識を得る為の基礎を築く。

領域：呼吸器、循環器、消化器、血液、腎・泌尿器、神経、内分泌・代謝、感染、免疫

【具体的な目標】

各領域の正常構造と機能を説明できる。

各領域の代表的な疾患の症状、病態生理、診断過程、病態生理に基づいた治療アプローチを説明できる。

【学習方法】

講義を行う。講義の予習と復習を行う。

各領域の指定された収録済講義の再視聴を行う。

不合格となった4年次のユニットの収録済講義の再視聴を行う。

2月5日 水曜日

13:40～14:00

オリエンテーション (Zoom)

担当： 森 茂久 (医学部長)、松田 晃 (学力増進室長)

14:00～16:10

表題: 学習方法についてのアドバイスと国家試験からの問題演習

講師：池上裕一 (内分泌・糖尿病内科)

内容：

1, 勉強のやり方についての独自のアドバイス

a, 効率の良い勉強方法について考えることができる。

2, 内分泌代謝に関する医師国家試験問題をもとにした演習

a, 医師国家試験の演習を通じて内分泌代謝領域における重要な疾患を把握することができる。

用意するもの：朝倉内科学、病気が見えるなど自身の教科書や今までの内分泌代謝の授業資料。今回の配布資料。

2月7日 金曜日

14:00～16:10

表題: いろんな感染症をピックアップ

講師：前崎繁文 (感染症科・感染制御科)

内容：

1, いろんな感染症をピックアップします。

- ① 蚊に刺されて痒いだけならいいのですが。蚊媒介感染症
- ② 可愛い犬や猫。でも、きちんと付き合っ感染症には注意を。人獣共通感染症
- ③ 抗生物質が効かない薬剤耐性菌が増えています。薬剤耐性菌感染症
- ④ 寒い季節に増える肺炎に注意しましょう。市中肺炎
- ⑤ 忘れてはいけない感染症。寄生虫の病気。寄生虫感染症
- ⑥ 結核。それは昔の病気ではありません。抗酸菌感染症
- ⑦ これからの季節、注意が必要です食中毒
- ⑧ 今は海外旅行に行けませんが、輸入感染症
- ⑨ この世に男女がいる限り。性行為感染症

2月12日 水曜日

14:00～16:10

表題: 血液学の基本の復習

講師：松田 晃（医学教育学、造血器腫瘍科）

内容：

- 1, 造血幹細胞、血球と血球形態、造血因子、造血部位
- 2, 貧血の症候
- 3, 鉄欠乏性貧血、二次性貧血
- 4, リンパ節の触診所見
- 5, 出血傾向

6, 検査の基本（血液学検査、骨髄検査）

7, 治療の基本（輸血、バイオクリーンルーム）

用意するもの：普段、血液学の学習に使用している教科書、授業プリント、配布資料等

2月14日 金曜日

14:00～16:10

表題: 神経症候を学ぶ

講師：伊藤康男（脳神経内科）

内容： 代表的な神経症候から病態・病気を考える

1. 失神・意識障害・けいれん
- 2, めまい・頭痛
- 3, 構音障害・失語・認知症
- 4, 運動麻痺・運動失調・不随意運動・歩行障害
- 5, 感覚障害・脳神経障害

用意するもの： 特になし

2月18日 火曜日

14:00～16:10

表題: 循環器領域の画像診断

講師：岩永史郎（心臓内科）

内容： 循環器領域の画像診断の判読方法

1. 循環器領域の画像診断の重要性を理解する
2. 負荷心筋シンチを読解できる
3. 冠動脈造影所見を読解できる
4. 心エコー図検査を読解できる
5. 胸部 X 線写真と胸部 CT で心大血管疾患を診断できる

用意するもの：なし。資料を配布する。

2月19日 水曜日

14:00～16:10

表題: 消化器対策のコツ

講師：菅原通子（消化器内科・肝臓内科）

内容：消化管・肝胆膵それぞれの分野より代表的な疾患の CBT 問題を例題として、消化器病の対策法を提案する。

- 1, 消化管疾患より逆流性食道炎
- 2, 肝胆膵疾患より肝硬変

用意するもの： 配布資料のみ

2月21日 金曜日

10:00～11:00

表題: 臨床問題を通して肺機能検査を学ぶ

講師：白畑亨（呼吸器内科）

内容： 具体的な臨床問題を通して肺機能検査を勉強する

- 1, 臨床問題
- 2, 肺機能検査の説明

用意するもの： 配布資料

2月22日 土曜日

10:00～11:00

表題: 腎炎・ネフローゼ症候群の臨床問題に取り組む為の基礎知識

講師：井上 勉 （腎臓内科）

内容：

- 1, 腎臓の診療に必要な検査（血液検査や尿検査）の正常・異常
- 2, 臨床問題の解法（ネフローゼと非ネフローゼに分けて考える）
- 3, 問題演習（解法のルールに沿って問題に挑戦する）

用意するもの：

特に無いですが、3年生の教科書で上記に関連する部分を見直してみる。

2月25日 火曜日

14:00～15:00

表題: 膠原病・アレルギー領域の臨床問題

講師：横田和浩（リウマチ膠原病科）

内容： 代表的な自己免疫性疾患・アレルギーから病態・病気を考える

- 1, 関節リウマチ
- 2, 全身性エリテマトーデス
- 3, 痛風
- 4, 食物アレルギー

用意するもの：配布資料